

# 2023年度 木曾岬中学校 国語科 学年別学習計画一覧

\* 表内の【知技】は、【知識・技能】、【思判表】は【思考・判断・表現】、【主】は【主体的に学習に取り組む態度】の略

1 年 【140時間】			2 年 【140時間】			3 年 【105時間】		
<b>目 標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行うことができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</li> </ul>		<b>目 標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</li> </ul>		<b>目 標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</li> </ul>	
<b>学 期</b>	<b>単元名・教材名等</b>	<b>達成したい主な姿【評価の観点】</b>	<b>学 期</b>	<b>単元名・教材名等</b>	<b>達成したい主な姿【評価の観点】</b>	<b>学 期</b>	<b>単元名・教材名等</b>	<b>達成したい主な姿【評価の観点】</b>
1	<b>学びをひらく</b> ・シンジュン ・情報を整理して書こう <b>新しい視点で</b> ・ちょっと立ち止まって ・ダイコンは大きな根？ ・話の構成を工夫しよう ・文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう <b>言葉に立ち止まる</b> ・詩の世界 ・比喩で広がる言葉の世界 ・読みやすく書くための楷書	【知技】登場人物の心情や行動に着目して作品を読み進めている。 【思判表】会話や描写から登場人物の心情や変化を読む。 【主】学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 【知技】筆者の主張と事例との関係を理解している。 【思判表】叙述をもとに文章の要旨を捉えている。 【主】文章中の工夫や考えたことを伝え合おうとしている。 【知技】文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 【知技】表現の技法を理解し使っている。 【思判表】根拠を明確にして自分の考えが伝わる文章を書いている。 【主】要旨を把握し、言葉について考えを深めようとしている。 【知技】点画の種類を確かめ、字形に注意して、整えて書いている。	1	<b>広がる学びへ</b> ・アイスプラネット ・枕草子 ・多様な方法で情報を集めよう <b>多様な視点から</b> ・クマゼミ増加の原因を探る ・魅力的な提案をしよう ・文法への扉1 単語をどう分ける？ <b>言葉と向き合う</b> ・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・言葉の力 ・読みやすく速く書くための行書	【知技】登場人物の心情や考え方の分かる語句に注意して読んでいる。 【思判表】作者と自分の考え方を比較して感じたことをまとめている。 【主】多様な方法で情報を収集しようとしている。 【知技】文章の構成や展開について理解を深めている。 【思判表】資料や機器を用いてわかりやすく伝わるように提案を工夫している。 【主】粘り強く構成を捉え、説明の工夫を考えようとしている。 【知技】目立語の種類と文の中で果たす役割について理解している。 【知技】情景を表す語句に着目して作品を読み深めている。 【思判表】自分の思いが伝わるように工夫して短歌を作っている。 【主】進んで短歌の構成や表現の効果について考え創作している。 【主】文章の内容を自分の経験と結びつけて考えたことを、伝え合おうとしている。 【知技】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、書いている。	1	<b>深まる学びへ</b> ・握手 ・評価しながら聞く ・学びて時に之を習ふ ・文章の種類を選んで書こう <b>視野を広げて</b> ・作られた「物語」を超えて ・説得力のある構成を考えよう ・文法への扉1 すいかはいくつ必要？ <b>言葉と共に</b> ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉を選ぼう ・文字を使い分ける	【知技】作品の設定や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。 【思判表】根拠の適切さや自分の考えとの違いなどを伝え合っている。 【思判表】孔子の生き方や考え方を自分の生活と関連付けて考えている。 【主】進んで文章の種類を選択し、情報を選択して文章にまとめようとしている。 【知技】文中の具体と抽象について理解している。 【思判表】導入や明確な主張、根拠や提案の設定、順序などを考えて話を構成している。 【主】粘り強く話の構成を工夫して自分の考えを話そうとしている。 【知技】既習の文法事項が日常の会話や文章を見直す際のポイントになることを理解している。 【知技】俳句の形式と特徴について理解している。 【思判表】好きな俳句を選び、その鑑賞文を書いている。 【主】相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。 【知技】文字文化の豊かさに触れ、既習の知識・技能を生かして書いている。
	<b>心の動き</b> ・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに <b>筋道を立てて</b> ・「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ ・根拠を示して説明しよう ・話題や展開を捉えて話し合おう <b>いにしえの心にあふれる</b> ・古典の世界 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉 <b>価値を見いだす</b> ・「不便」の価値を見つめ直す ・助言を自分の文章に生かそう ・文法への扉2 言葉の関係を考えよう ・読みやすく速く書くための行書	【知技】時代背景や、情景や心情をたどる表現を理解している。 【思判表】描写に着目して登場人物の行動や心情の変化を捉えている。 【主】積極的に描写を理解し、考えを伝え合おうとしている。 【知技】筆者の意見と根拠の関係を理解している。 【思判表】根拠を明確にして自分の意見を書いている。 【主】学んだことをこれからの話し合いに活かそうとしている。 【知技】古典には様々な種類の作品があることを理解している。 【思判表】登場人物の描写から、現代の人々にも共通する部分を考えている。 【主】古典の世界を想像したり、故事成語を使った文章を書こうとしている。 【知技】意見と根拠から、必要な情報を取り出し、整理している。 【思判表】目的に沿って必要な情報を結びつけ、要約している。 【主】自分の意見を積極的に文章にまとめようとしている。 【知技】「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について理解している。 【知技】漢字の行書の特徴と書き方を理解し、身近な文字を書いている。		<b>人間のきずな</b> ・盆土産 ・字のない葉書 ・聞き上手になろう ・表現を工夫して書こう <b>論理を捉えて</b> ・モアイは語る ・根拠の適切さを考えて書こう ・立場を尊重して話し合おう <b>いにしえの心を訪ねる</b> ・扇の的―「平家物語」から ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景 <b>価値を語る</b> ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・魅力を効果的に伝えよう ・文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 ・文字を使い分ける	【知技】言動や情景を表す語句が作品に与える印象を述べている。 【思判表】表現の描かれ方を比較し、その効果について考えている。 【思判表】話の要点や全体像を考えながら聞いている。 【主】積極的に自分の考えが伝わる通信文を書こうとしている。 【知技】筆者の主張の根拠を理解し、それが適切が吟味している。 【思判表】自分の知識や体験と重ね、自分の考えを文章にまとめている。 【主】互いの立場や考えを尊重しながら討論しようとしている。 【知技】古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 【思判表】同じような経験がないかを踏まえて、話し合っている。 【主】作品の特徴を生かして朗読し、好きな作品を選んだ理由を述べようとしている。 【知技】筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と言う理由を理解している。 【思判表】作品の魅力が伝わるように自分の考えを具体的に説明している。 【主】進んで作品の良さが伝わるような鑑賞文を書こうとしている。 【知技】用言の活用と活用の種類について、語例と共に理解している。 【知技】目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。		<b>状況の中で</b> ・挨拶―原爆の写真によせて ・故郷 ・聞き上手になろう ・「推敲」論理の展開を考える <b>自らの考えを</b> ・人工知能の未来 ・人間と人工知能の創造性 ・多角的に分析して書こう ・合意形成に向けて話し合おう <b>いにしえの心を受け継ぐ</b> ・和歌の世界 古今和歌集仮名序 ・君待つと一万葉・古今・新古今 ・夏草―「おくのほそ道」から ・古典名句・名言集 <b>価値を生み出す</b> ・誰かの代わりに ・情報を読み取って書こう ・文法への扉2 「ない」の違いがわからない？	【知技】比喩や象徴的な表現が文脈の中で表す意味を考えている。 【思判表】作品にあらわれているもの見方や考え方について自分の意見を持っている。 【主】相手の話を予測しながら聞き、質問や評価を述べようとしている。 【思判表】読み手の立場に立って文章構成や内容を整えている。 【知技】内容の信頼性や客観性を確かめながら要旨を捉えている。 【思判表】二つの文章を比較して共通点や相違点をまとめている。 【思判表】表現方法を考えたり、適切な資料の引用でわかりやすく伝わる文章にするように工夫している。 【主】互いの意見の長所を生かして、よりよい結論につながるよう協力している。 【知技】朗読などを通して和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。 【思判表】和歌にあらわれた心情や情景、表現方法について考えている。 【思判表】芭蕉が見たものや感じたことを想像している。 【主】気に入った古典の名句や名言を選び、朗読したり書き出したりしようとしている。 【知技】抽象的な語句の意味や文脈上での意味を確認して読んでいる。 【思判表】筆者の考えを捉え、社会や人間についての自分の意見を持つ。 【主】グラフなどの情報を客観的に読み取り、論理的な小論文を書こうとしている。 【知技】文章の中での「ない」の品詞や働きの違いを理解している。
3	<b>自分を見つめる</b> ・少年の日の思い出 ・随筆二編 ・構成や描写を工夫して書こう ・一年の学びを振り返ろう ・さくらの花びら ・文法への扉3 単語の性質を見つけよう	【知技】場面描写の言葉や心情を表す言葉に着目している。 【思判表】場面展開や描写に着目して筆者の思いを捉えている。 【主】言葉を吟味して粘り強く随筆を書こうとしている。 【知技】声の大きさ、話す速さ、間の取り方に注意して発表している。 【思判表】読み深めたことをもとに作者の思いを想像し、考えたことを語り合っている。 【知技】「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について理解している。	<b>表現を見つめる</b> ・走れメロス ・構成や展開を工夫して書こう ・国語の学びを振り返ろう ・木 ・文法への扉3 一字違いで大違い	【思判表】観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめようとしている。 【知技】既習の作品の構成や展開の、自分の文章に生かしたい点を考えている。 【思判表】読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。 【主】作者のもの見方について話し合おうとしている。 【知技】助詞・助動詞の働きや種類について理解し、意味・用法を判別している。	<b>未来へ向かって</b> ・温かいスープ ・わたしを束ねないで ・三年間の学びを振り返ろう	【知技】登場人物の関係を通して、国際性とは何かを読み取っている。 【思判表】作品のもつメッセージを捉え、自分の生き方について考えている。 【思判表】自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。 【主】友達と作品を読み合ったり発表を聞き合ったりする中で、自分の考えを深めようとしている。		